

# 技術士業務開業研修会

活用促進委員会委員  
副委員長 池田 昌浩  
副委員長 向井 利文

## 1. はじめに

2023年1月14日(土)13:00~17:00、中国本部活用促進委員会主催の技術士業務開業研修会を会場(広島、島根、山口)とオンラインのハイブリッドで開催した。

2つの講演の他、2つの基礎セミナーの多岐にわたる内容の研修会となった。



開会挨拶:大江 清登 委員長

## 2. 講演要旨

### (1)講演 1: 中小企業の課題と対応

鳥越 直樹 氏

広島県中小企業団体  
中央会 専務理事



中小企業の課題とその課題解決のための伴走型支援に関してわかりやすく話された。

喫緊の環境変化から中小企業に求められる課題として、地球環境変化、日本の人口減少、デジタル環境変化があり、中小企業単独での課題解決は困難で支援が必要となる。中小・小規模企業支援制度が変わってきており、中小企業においては経営の合理化、経営資源確保、小規模企業においては経営基盤の充実、継続的発展と目的が変化している。その支援として伴走型支援があり、鳥越氏が県東部の企業と共に歩みながら支援を行う伴走型支援が有効で重要であると経験より話しされていた。伴走型支援により表課題と裏課題を特定し解決して企業の自走化に結び付ける。この各課題解決に専門領域チームとして技術士会中国本部が期待されており、広島県中央会と技術士会中国

本部との取り組みが進んでいる。

これに関連して、技術士会としても、昨年4月から広島県中央会の機関誌の中の「専門家による知っ得解説」のコーナーに、いろいろな技術テーマで連載を行っており、広島県中央会と技術士会中国本部の中小企業支援の取り組みが始まろうとしている。

### (2)講演 2. 若い年代の技術士開業事例

～開業前の準備と開業後の体験談～

大菌 剣吾 氏

技術士事務所ソメイテック所長  
BISAI 株式会社代表取締役



大菌氏が38歳の若さで独立技術士として開業され、その後6年間を第一線で活動された経験と実績を基に、開業前の取り組み、開業の準備と実行、開業後の取組におけるポイントを話された。

開業前に技術士資格を取得されて技術コンサルタントで開業に必要なベースの力があることを確認され、開業の準備として事業計画を作成し、業務メニュー案、マーケティングミックス、ブランディングを検討し実行されている。

開業後の取組として、収入パターンの多角化、技術士会などの様々な団体組織に関わり、運営に貢献することでネットワークが構築できたとのことで、営業力を高めている。

更に収益性の向上、業務報酬の例、注意することなどを経験されたことを具体的に講演された。技術士業務開業を志す技術士にとって、とても参考になる有意義な講演と

なった。

### (3)開業セミナー1:ローカルベンチマーク

#### の紹介

大石 真 氏

中国経済産業局地域経済部  
地域経済課 総括係長



知的資産経営の紹介と知的資産経営を実践するローカルベンチマークについて、概要を説明された。

自社の経営の強みをしっかりと把握し活用することで業績の向上に結び付ける経営を知的資産管理と呼んでおり、目に見えない資産のノウハウ、人材、技術、ネットワークのような知的財産を経営に活かし、企業の強み、企業の戦略を企業内で共有すること、企業にマッチする人材の確保、後継者に事業が円滑になるなどのメリットがある。

ローカルベンチマークは経営全体を俯瞰できる企業の健康診断を行えるツールでどの企業でも使うことができ、支援機関や金融機関との対話のための共通言語としても使用できる。ツールに入力することで課題と対応策を導き出せる。また、補助金等にも活用できると説明された。

### (4)開業セミナー2-1:ローカルベンチマーク

#### の活用について

##### ①「非財務分析」の活用について

正井 慎悟 氏

技術士(経営工学)  
活用促進委員会副委員長  
さんあい技術コンサルタント



ローカルベンチマークの非財務分析の業務フロー、商流、4つの視点の3つの活用方

法について説明された。中小企業の経営者が経営について客観的に把握することが難しく、客観的に把握することは企業コンサルタントとして支援実践時の重要ポイントとなると話されていた。

また、ビジネスモデル・マネジメントシートの紹介としてビジネスモデルキャンバス(BMC)、経営デザインシートについて説明された。

### (5)開業セミナー2-2:ローカルベンチマーク

#### の活用について

##### ②「財務分析」の活用について

長原 基司 氏

技術士(情報工学/総監)  
活用促進委員会副委員長  
LFコンサルタント



ローカルベンチマークの財務分析の活用方法について説明された。ローカルベンチマークは技術士に不足している経営的視点からの分析に非常に有効なツールであり、これらは、過去の数値からの分析に留まらず、事業計画などによる詳細の予測数値を入力することにより業種が現状と仮定した場合の想定にも活用できると話されていた。

### 3. 総合質疑応答

各会場とオンラインのハイブリッド開催であったが、各会場から熱心な質疑応答があり、有意義な会となった。

#### お知らせ

中小企業と技術士のマッチングのきっかけをつくる企画として、広島県中小企業団体中央会の会報「中小企業ひろしま」で連載を行っています。

中小企業の方に、相談できる専門家の存在を知ってもらいたい機会ですので、積極的な投稿をお願いいたします。



HPの案内